

新聞ラウンジのソファが新しくなりました

昭和59年の新館開館以来使用してきた1階新聞ラウンジのソファを、この4月から座り心地のよい美しいソファに取り替えました。ゆっくりと座って新聞を読んだり、文字放送を楽しんでいただけます。2階休憩ロビーのソファも順次取り替える予定をしています。

利用する人が気持ち良く使えるように大切にマナーを守ってご利用下さい。

(資料運用掛)

同和問題図書目録ができました

このたび「京都大学同和問題文献・資料コーナー図書目録1974～1992」を刊行しました。この目録は、

本学教官で構成する同和問題委員会選書小委員会で選書された図書、雑誌、新聞を収録しています。昭和49年(1974)から現在まで2年毎に発刊している累積版の冊子目録です。

今回は、平成3年版のあと新しく購入したり寄贈を受けた図書など540冊を加えて、収録総数は図書1,488点、新聞・雑誌20点となっております。すでに各部局へ送付しましたので、最寄りの図書室等でご利用下さい。

なお、目録に収録されている同和問題関係の資料は、総合人間学部、医学部、農学部の各図書館(室)及び附属図書館の同和図書コーナーで利用することができます。

(和書目録情報掛)

報 告

新入生オリエンテーションの開催

附属図書館では、本年度から新入生向けの図書館オリエンテーションを開催することになり、4月に下記のとおり実施しましたので報告します。

開催日時・場所

日時：4月21日(水)～4月23日(金)の毎日2回

1回目 12:10～12:50

2回目 16:30～17:10

場所：附属図書館 AVホール

開催内容

図書館利用案内ビデオ(約17分)

利用方法の説明

貸出・返却・予約・更新等

本の探し方(カード・OPACの見方)

他大学相互利用

ビデオ・テープの利用方法

アンケート調査

参加人数

3日間合計 533名

開催の際、参加者にアンケート調査をお願いしましたので、その集計結果をまとめてみました。アンケート回収数は454枚で、アンケートに記述していただいた図書館に対する要望は、以下のようになっています。

1) オリエンテーションに関して

- ・実施期間をもう少し長く1週間くらいにして欲しい。
- ・利用案内のビデオをちゃんと作って下さい。
- ・利用方法の詳細についても教えて欲しい。

2) 図書館資料に関して

- ・文庫本(新潮・早川・創元)も入れて欲しい。
- ・新聞を増やして欲しい。
- ・小説を増やして欲しい。
- ・語学テープが借りだせるといい。

3) 図書館設備に関して

- ・館内を禁煙にして欲しい。
- ・館内の空調に気をつけてほしい(暑いので)。
- ・喫茶店、昼寝スペースのようなものを作って欲しい。
- ・閲覧席を増やして欲しい。
- ・日曜日でも開館して欲しい。
- ・朝8時から開館して欲しい。
- ・学生の書庫の出入りを希望する。
- ・コピーが高いので安くして欲しい。

4) 目録に関して

- ・カードとOPACの両方を調べるのは面倒なので古いデータをOPACに入れて欲しい。
- ・分類法と配架場所を統一して欲しい(新・旧2つは面倒)。

5) 他の講習会に関して

- ・CD-ROM その他学術情報の利用のオリエンター

ションをして欲しい。

・OPAC の講習を早い時期にして欲しい。

これらは簡単に解決できないことも多く、要望や希望に沿えない点もありますが、出来るだけ解決していくよう検討していきたいと思います。

図書館に対する要望、質問等あれば、ご遠慮なくカウンターに申し出て下さい。

附属図書館では今回初めてオリエンテーションを開催したのですが、回収したアンケートのうち80%近くの参加者が、今後積極的に図書館を利用したいと回答しています。また、新入生向けであったにも関わらず院生等の参加も見られ、潜在的に図書館利用方法についてのオリエンテーションの要求があるものと考えられます。

今後図書館では、院生向けにももう少しレベルアップした、CD-ROM や情報検索などの講習会や、留学生向けのオリエンテーションも企画していく予定です。(参考調査掛)



目録検索講習会の実施

5月18日と19日の両日、午後3時から30分間にわたり、1Fカウンター前にてOPAC/ILIS (図書館目録検索システム) の検索講習会が開催されました。これは今年度初めて実施された新入生を対象とした図書館オリエンテーションの一環として行われたもので、参加者は18日が29名、19日が17名の合計46名でした。

説明は、まずOPAC/ILISの概要から始められ、実際の端末の操作方法については、説明者が検索画面を表示したボードを示し、それに応じて図書館員が8台の端末の前でオペレーションをするという方法で進められました。

参加人数も、実際の画面を見ていただくという点で適正であり、操作方法はよく理解していただけたと思います。

こうした機械検索は操作が簡単で、しかもあいまいな情報しか持っていないくても、求めるデータを得ることができるという点で、非常に優れています。

今回の講習会では時間の制約上、1通りの方法(書名・著者名によるキーワード検索)についてしか、説明することができませんでしたが、その他にも様々な方法で検索することが可能です。検索方法についてのご相談、機械のトラブル等につきましては、1階参考カウンターまでお越し下さい。

(参考調査掛)

教養部改革と図書館

一総合人間学部の発足一

平成4年10月1日、京都大学総合人間学部が設置されました。

昭和24年、新制京都大学の「分校」として発足以来43年、昭和29年分校を「教養部」と称し、昭和38年制度化された教養部は、ここにその歴史の幕を閉じました。

近年、全国のいくつかの大学で検討が進められ、また実施されてきた教養部改革は、本学では昭和40年代より各種検討委員会で議論されてきた経過をたどり今日に至ったものです。

一方、平成3年4月、独立研究科としてスタートした「大学院人間・環境学研究科」(第一専攻)と併せて、新しい時代に対応した自然と人間との調和を目指した学部「総合人間学部」が形成されました。

平成5年4月より学生受け入れの新学部は、4学科13講座、また、大学院人間・環境学研究科は昨年10月に設置された第二専攻と併せ2専攻17講座でそれぞれ構成されています。

総合人間学部

人間学科

人間基礎論講座

生活空間論講座

国際文化学科

文化構造論講座

文明論講座

言語文化論講座

日本・中国文化・社会論講座

欧米文化・社会論講座

基礎科学科

数理基礎論講座

情報科学論講座